

2. 菜の花プロジェクトの目指すもの

- 1) 「大量生産・大量消費・大量廃棄」に代わる「21世紀型産業社会」形成
 - ・ 20世紀型産業社会の後始末を「大量処理型」で解決するのではなく、地域のことをできるだけ地域で解決していくという「自立分散・資源循環」の21世紀型産業社会のビジョンを住民に具体的に提示していく。
 - ・ 問題解決を他人任せにするのではなく、まず自分たちの地域での問題としてとらえ、「問題対処型」ではなく「問題未然防止型」の仕組みを取り組みの中で考える。
- 2) 「中央主導による地域振興」に代わる「地域イニシアティブによる地域振興」
 - ・ 20世紀型の「官僚主導」に代わり、生活の場である「地域」「現場」に足をつけた発想と行動と責任に基づいた「地域イニシアティブによる地域づくり」を進める。
 - ・ 地域主導による、21世紀型産業社会の実現に向けての政策のインテグレート（統合）。
- 3) 概念論ではない「資源循環型社会」の具体的な地域モデルづくり
 - ・ 新しい世紀のはじまりの時期にもかかわらず、閉塞感が漂う中で、未来に向かって明るい夢を語ることでできる手応えのある、具体的な地域の未来ビジョンを示す。
 - ・ 多様な地域の知恵と行動が反映され、人々の参加自由度が高く、運動の柔軟な広がりや懐の深さを持った地域モデルづくり。

3. 菜の花プロジェクトの可能性（不可欠な「農の多面的機能」活用の具体的展開）

- 1) 食の安全性の確保
- 2) 地域にある再生可能エネルギー資源の再評価
- 3) 農地、里山、森林等の保全・利用
- 4) 土壌汚染、大気汚染、水質汚染の防止
- 5) 地球温暖化の防止
- 6) 地域の総合学習、地域教育
- 7) 地域コミュニティの再構築
- 8) 農業の再生、「内発型」の地域産業振興と雇用の創出
- 9) 地域振興、地域の活性化（ファームステイ、農家レストラン、エコツーリズム 等）
- 10) 平和的国際貢献

4. 第4ステージ「アグリ・ルネッサンス」（食・エネルギーの地産地消）

- 1) 菜の花プロジェクトネットワーク
- 2) 「菜の花サミット」と「サステイナブル・デザイン委員会」
- 3) バイオマス・ニッポン（一府六省）、国産資源作物の展開（耕作放棄地の解消）
- 4) 菜の花議員連盟（超党派国会議員連盟）と「菜の花地方議員連盟」
- 5) 「菜の花マスコミ応援団」、「菜の花学会・楽会」（若者が主役）

5. 菜の花プロジェクトネットワークの国際連携

韓国菜の花プロジェクト、中国（東北地域）菜の花プロジェクト、モンゴル菜の花プロジェクト、ウクライナ菜の花プロジェクト e t c。